

2024年度 中央大学大学院学術シンポジウム

# 考古・歴史資料が語る古代ユーラシアの食と住

近年、新たな発見が続く考古と古代の史資料をもちいて、東アジア（日本、韓国、中国、シベリア）とユーラシア外縁部の中近東・ヨーロッパにおける、先史・古代の食と住を読み解く。

主催：中央大学大学院 日本史学専攻小林謙一・東洋史学専攻阿部幸信

共催：中央大学人文科学研究所 協力：科研費助成事業（22H00019, 20A102, 19KK0017）

開催日時：2024年7月13日 土曜日 10:00～16:30

場所：中央大学多摩キャンパス文学部棟3号館3351教室（対面・webによるハイブリッド方式）  
プログラム

挨拶	中尾秀博（中央大学大学院文学研究科委員長）	10:00-～10:05
主旨説明	ユーラシアにおける土器利用-食と住を巡って 小林謙一（中央大学）	10:05-～10:30
講演1	先史中国における文化の変遷からみた食生活 周立剛シュウ リツゴウ（河南省文物考古研究院研究員（通訳：廖响（中央大院生））	10:30～11:30
コメント1	戦国秦漢の食と住 阿部幸信（中央大学）	10:30～11:00
コメント2	魏晋南北朝時代の食と文化 胡鴻コウ（北京大学歴史学系教授）	11:00～11:30
昼休憩		11:30～12:50
講演2	韓半島における先史古代の食と住 林尚澤イム サンテク（釜山大学校考古学科教授・釜山大学校博物館長（通訳：廣瀬雄一））	12:50～13:50
コメント3	先史時代における韓半島と日本の漁業 廣瀬雄一（釜山大学博物館）	13:50～14:10
コメント4	先史日本列島における食と住 遠部慎（中央大学人文科学研究所客員研究員）	14:10～14:30
コメント5	先史極東ロシアからみた食と住 國木田大（北海道大学文学研究院）	14:30～14:50
休憩		14:50～15:00
コメント6	先史中近東における食と住の様相 下釜和也（千葉工業大学地球学研究センター）	15:00～15:20
コメント7	先史ヨーロッパにおける東アジアとの共通性 Simon Kaner サイモン ケイナー（セインズベリー日本芸術研究所所長）	15:20～15:50
質疑応答・まとめ	司会：小林・阿部	15:50～16:30

参加希望者は、7月6日（土）23時までに

名前・所属・対面/webのどちらを希望・メールアドレスを明記の上、

右のQRコードからメールで申し込みください。

なお、web/対面とも、それぞれ先着順80名程度とさせていただきます。



申し込み・お問い合わせメールアドレス  
kobayashikenichi22@gmail.com（小林謙一）